



キャブキット

Workman® HDX および HDX-Auto 汎用作業車

モデル番号 07392—シリアル番号 401400001 以上

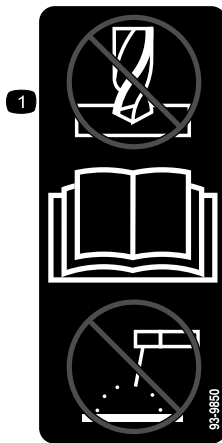
取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



93-9850

decal93-9850

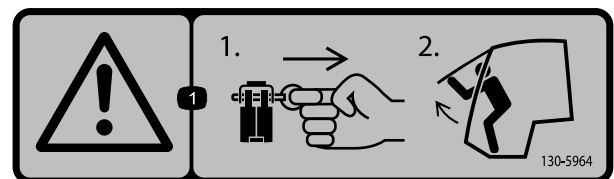
1. 修理や改造をしないことオペレーターズマニュアルを読むこと。



117-4955

decal117-4955

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと 運転席ではシートベルトを着用すること 車体を傾けないこと。
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。

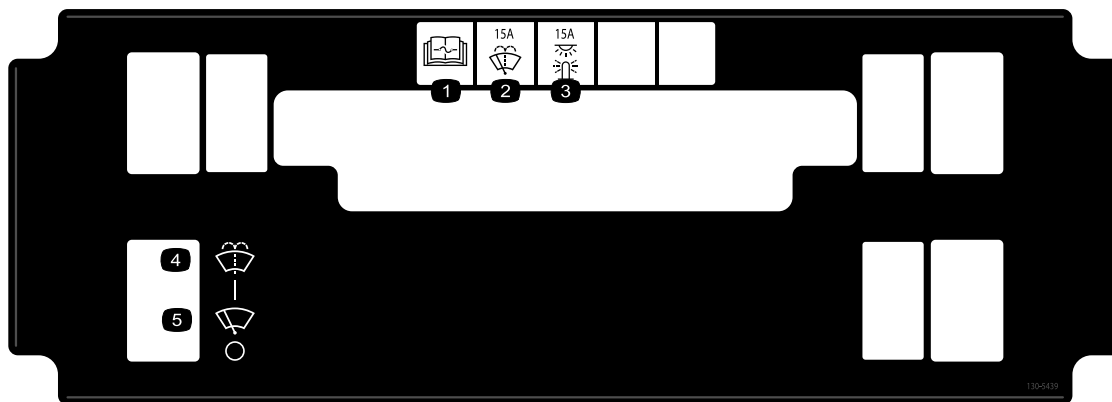


decal130-5964

130-5964

1. 警告 緊急時には、各ヒンジについているロックピンを抜き取り、前窓を押し開いて脱出する。





decal130-5439

130-5439

1. ヒューズに関する詳しい情報はオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. ワイパー 15A
3. ライト 15A
4. ワイパースプレー
5. ワイパー

取り付け

その他の付属品

内容	数量	用途
圧縮スプリング工具	1	圧縮スプリングを取り付ける。
CVT インテークフードアセンブリ ワークマン HDX-Auto のみ	1	CVT インテークフードアセンブリを取り付けます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 荷台装着車では、荷台を上昇させるか取り外すかする。

注 荷台の昇降と取り外し手順の詳細説明については車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. バッテリーの接続を外す; オペレーターズマニュアルを参照。
6. ヘッドライトの開口部でフードをつかみ、フードを持ち上げて、下側の取り付けタブをバンパーのスロットから外す [図 1](#)。

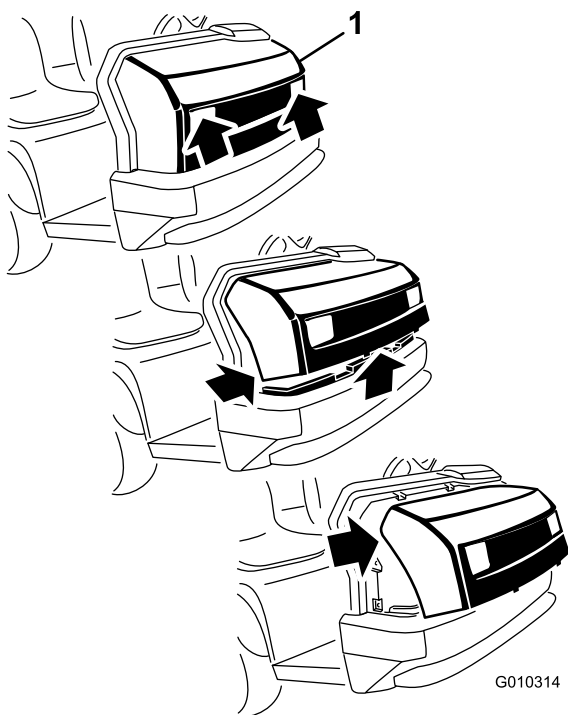


図 1

1. フード

7. フードの下側を手前に持ち上げて、上部の取り付けタブをフレームのスロットから引き抜けるようにする [図 1](#)。

8. フードの上側を前に倒し、ヘッドライトからワイヤコネクタを抜く [図 1](#)。

9. フードを外す。

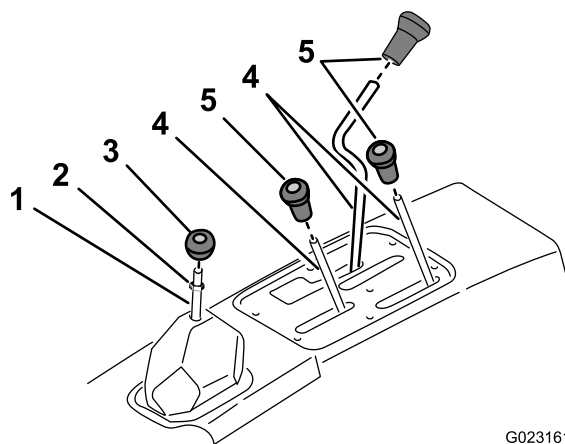
2

中央コンソールパネルと運転席を外す

必要なパーツはありません。

中央コンソールパネルを外す ワークマン HDX の場合

1. コンソールレバーとギアシフトについているノブを全部外す [図 2](#)。



G023161
g023161

図 2

1. シフターのロッド
2. ジャムナット
3. シフターのハンドル
4. コントロールロッド
5. コントロールノブ

2. ギアシフトレバーからジャムナットを外す [図 2](#)。
3. 中央コンソールのカバープレートの外側エッジ部をシャーシに固定しているねじ6本を外して、カバープレートを取り外す [図 3](#)。

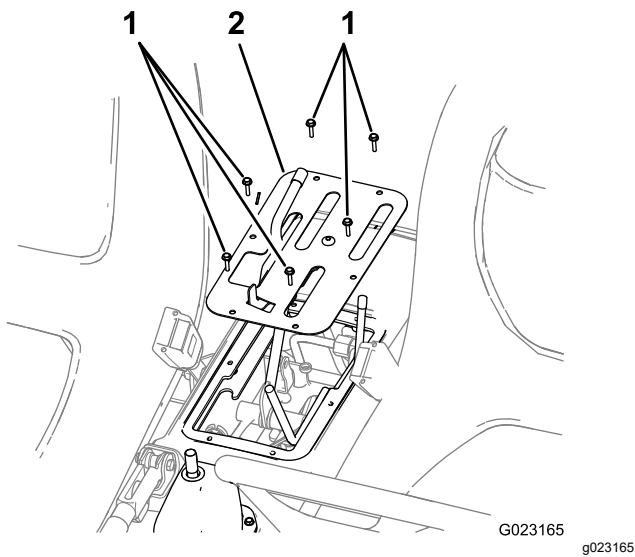


図 3

1. ねじ
2. カバープレート

中央コンソールパネルを外す

ワークマン HDX-Auto の場合

1. コンソールのレバーについているノブ、トランスミッションレバーのノブを全部外すノブはどれも左に回すと外れる 図 4。

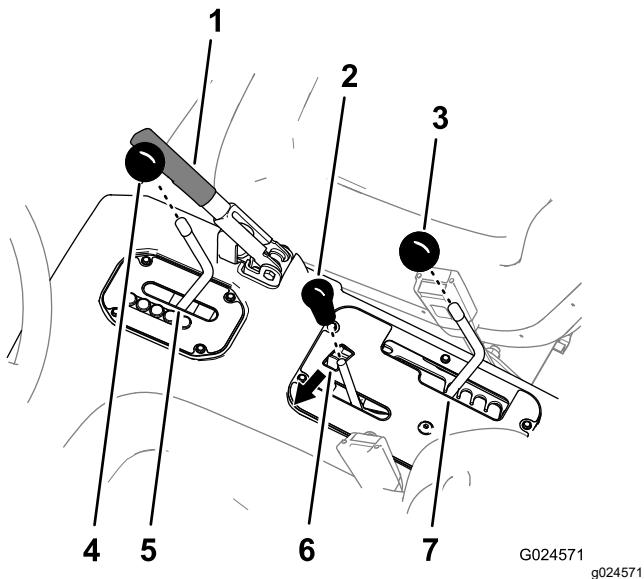


図 4

1. ブレーキレバー
2. 昇降レバーのノブ
3. 速度レンジレバーのノブ
4. トランスミッションレバーのノブ
5. トランスミッションレバー低速位置
6. 油圧昇降レバーのロック左ロックされた状態
7. 速度レンジレバーA位置

2. シフト表示カバーを座席シュラウドに固定している六角ねじ4本を外す 図 5。

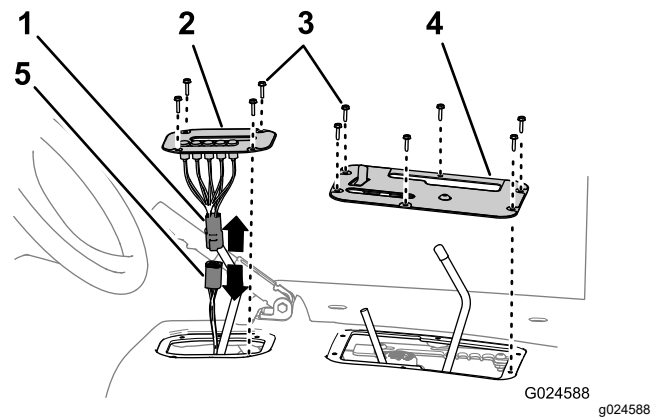


図 5

1. インジケータのコネクタ
2. シフト表示カバー
3. 六角ねじ
4. コントロールカバー
5. マシンのハーネスのコネクタ

3. シフト表示用インジケータを持ち上げてコネクタを外し、インジケータカバーを車両から取り外す 図 5。

4. コントロールカバーを座席シュラウドに固定している六角ねじ6本を外し、コントロールカバーを取り外す 図 5。

座席を取り外す

座席レールをシャーシに固定しているソケットヘッドボルト8本を外して運転席を取り外す 図 6。

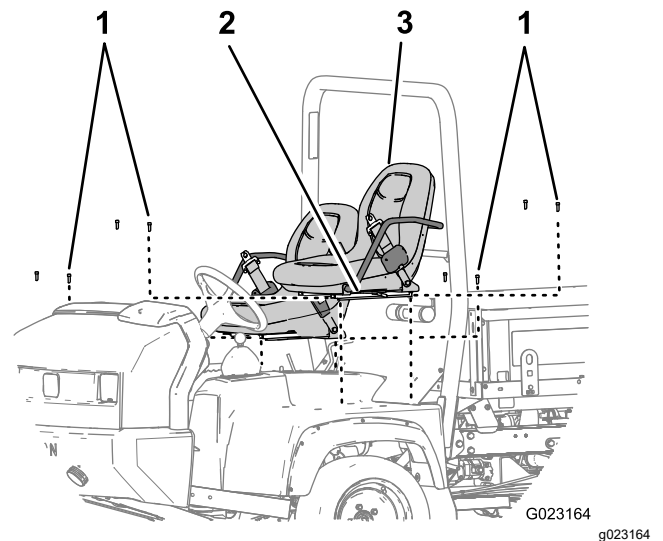


図 6

1. ソケットヘッドボルト
2. シートレール
3. 運転席

3

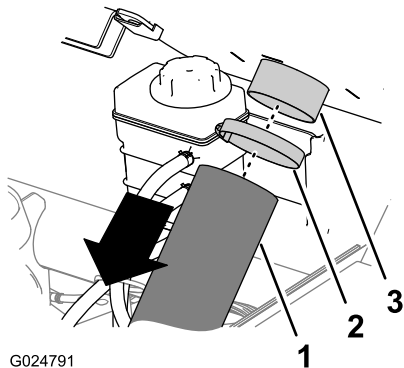
CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、冷却液タンク、ROPS アセンブリ、シートシュラウドを取り外す

必要なパーツはありません。

CVT冷却ダクトを取り外す

HDX-Auto の場合のみ

CVT 冷却ダクトをCVT インテークのフランジに固定しているホースクランプ助手席側のROPSパネルの裏側を外す 図 7。



G024791

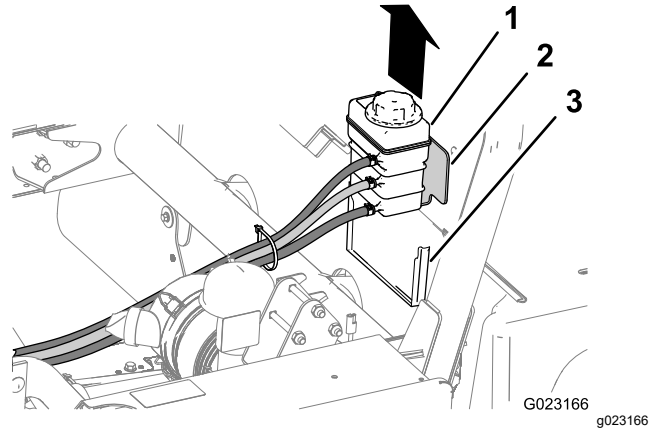
g024791

図 7

1. CVTインテークホース
2. ホースクランプ
3. インテークチューブのコネクター

冷却液タンクを取り外す

1. 運転席シュラウド後部のサポートポケットから、冷却液タンクを持ち上げて取り外す 図 8。



G023166

g023166

図 8

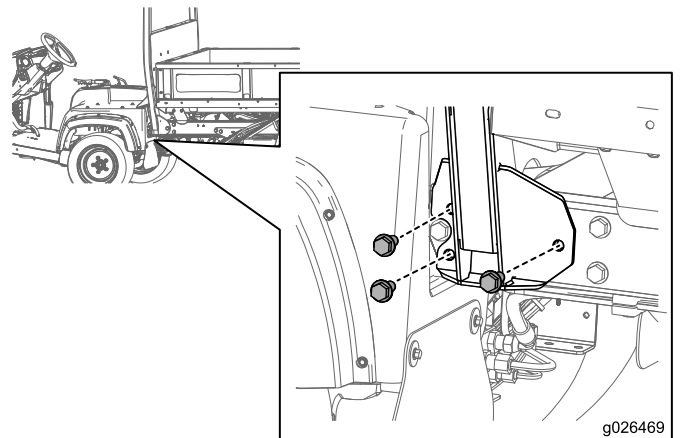
1. 冷却液タンク
2. 例薬液タンクのブラケット
3. 運転席のシュラウド

2. 冷却液タンクを、エンジン/シャーシの上に真っ直ぐ立たせて置く。

ROPSアセンブリを取り外す

1. 図 9と図 10に示されているように、ROPSアセンブリを車体フレームに取り付けているボルト6本を外す。

注 ボルトは捨てないこと。



g026469

g026469

図 9

2. ROPSアセンブリに取り付けてあるオペレーターズマニュアル 保管チューブとその R クランプを取り外す。

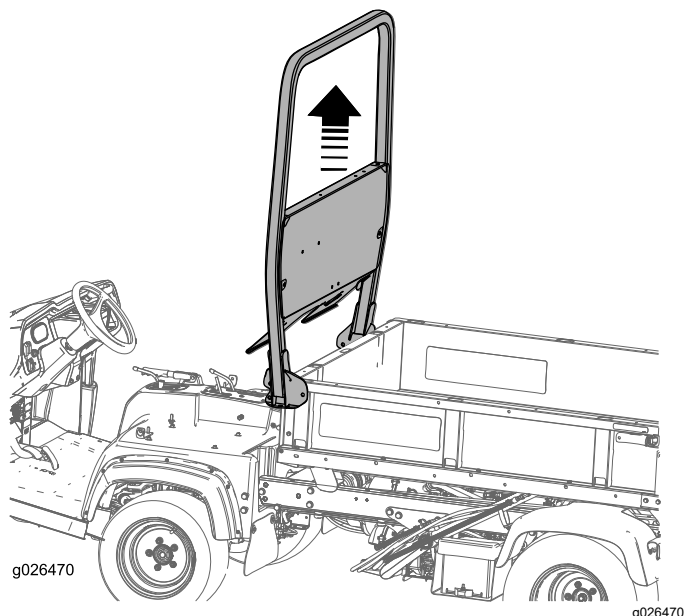


図 10

ワークマン HDX-Auto の場合

1. 車両用ハーネスからシフトインジケータ用のコネクタを外す 図 12。

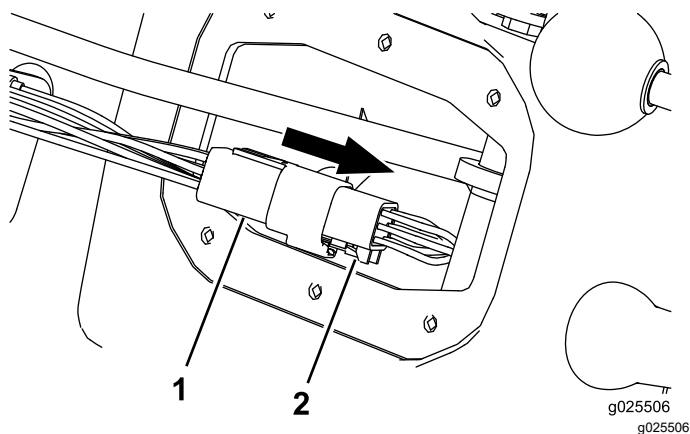


図 12

1. シフトインジケータ用コネクタ 2. 車両のハーネス

2. 中央コントロールアセンブリを持ち上げて回して外し、サスペンションスプリングへのアクセスを確保する。

両モデル共通

運転席シュラウドを持ち上げて機体から取り外す 図 13。

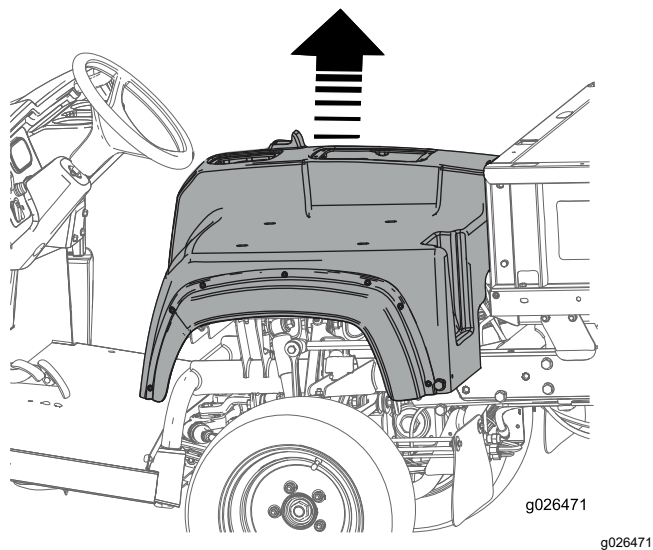


図 13

運転席シュラウドを取り外す

ワークマン HDX の場合

1. 駐車ブレーキを掛ける 図 11。

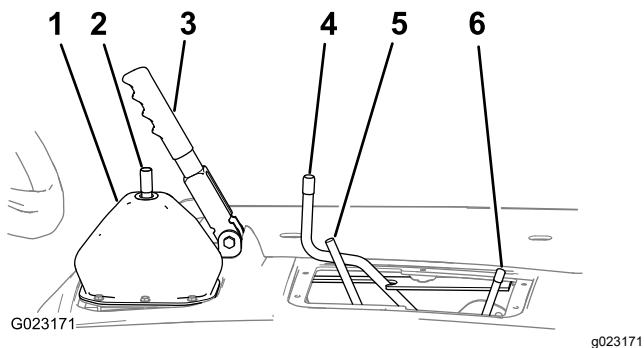


図 11

1. ギアセレクトのカバー
2. ギアセレクトのロッド
3. 駐車ブレーキ
4. デファレンシャルロックのロッド
5. 油圧式荷台昇降装置のロッド
6. ハイローレンジシフターのロッド

2. デフロックのロッドを前右方向ロック位置に倒す 図 11。

ワークマン HDX-Auto の場合

昇降バルブをコントロールのブラケットに固定しているボルトを外し、コントロールブラケットを機体に固定しているナットとボルトを外す 図 14。

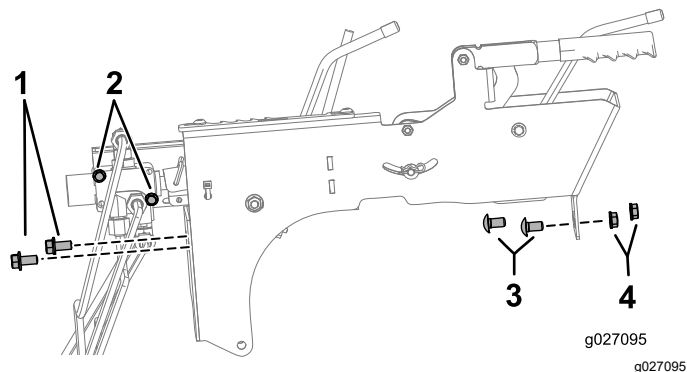


図 14

1. コントロールブラケットを機体に保持しているボルト
2. 昇降バルブをコントロールブラケットに固定しているボルト
3. コントロールブラケットを機体に保持しているボルト
4. ナット

4

機体をジャッキアップして前輪を外す

必要なパーツはありません。

機体をジャッキアップする

⚠ 危険

ジャッキに載っている車体は不安定であり、万一外れると下にいる人間に怪我を負わせる危険が大きい。

- ジャッキアップした状態でエンジンを始動してはならないエンジンの振動や車輪の回転によって車体がジャッキから外れる危険がある。
- 車両から降りる時は必ずスイッチからキーを抜いておく。
- ジャッキアップした車両には輪止めを掛ける。
- ジャッキアップした車体の下で作業するときは、必ずスタンドで車体を支えておくこと。万一ジャッキが外れると、下にいる人間に怪我を負わせる危険が大きい。

車両前部をジャッキアップする時は 5×10 cm 程度の木片等をジャッキとフレームの間にかませる。

車両前部のジャッキアップポイントは、前中央フレームサポート下側です 図 15。

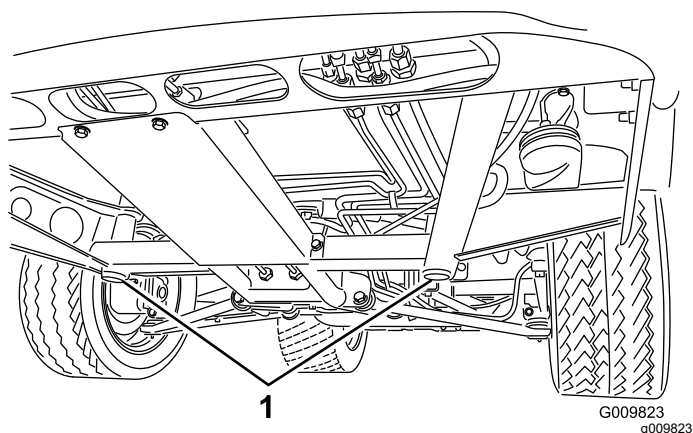


図 15

1. 車体前部のジャッキアップポイント

前輪を取り外す

1. 前輪をホイールハブに固定しているラグナット5個を外す 図 16。

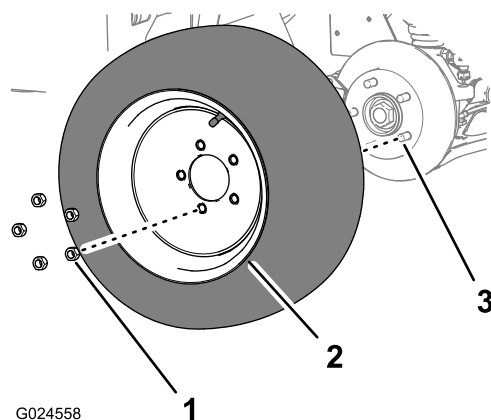


図 16

1. ラグナット
2. 前輪
3. ホイールハブ

2. ホイールハブから前輪を取り外す 図 16。
3. マシンの反対側の前輪についても 1と2 の作業を行う。

5

圧縮スプリングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	圧縮スプリング黒
---	----------

手順

1. 図 17 に掲載されている圧縮スプリング用工具を使って、圧縮スプリングロッドを各スプリングクレードルの穴に通す 図 18。

重要 スプリングクレードルを取り外す時、スプリングに力が掛かっているので十分注意してください。

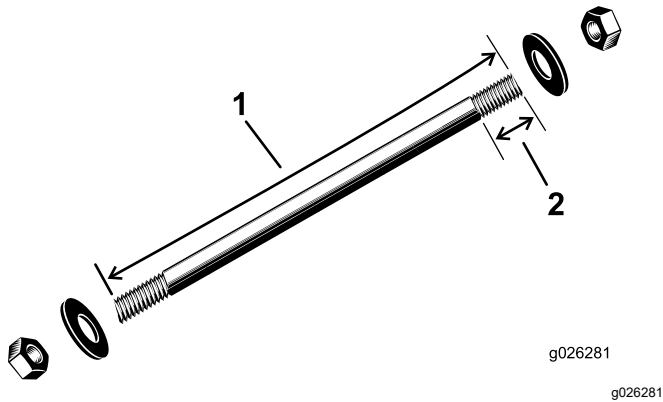


図 17

1. 51 cm
2. 13 cm

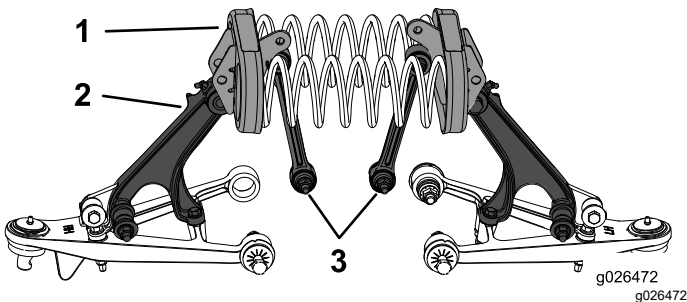


図 18

1. スプリングクレードル
2. コントロールアーム
3. スタビライザのリンク

2. 各スプリングの長さを測定して記録する。
3. ロッドの両端部それぞれにワッシャとナットを取り付ける 図 19。

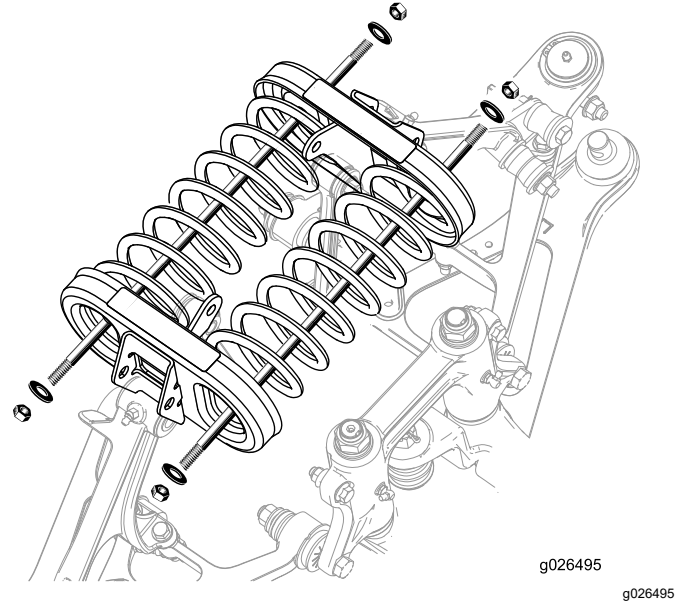


図 19

4. スプリングを固定するために、各ロッドにつき1個のナットを締める 図 19。
5. 各スタビライザのたんプラスチックからボルトとナットを外す 図 20A
6. に示すように、各スプリングクレードルを固定しているコントロールアームからボルトとナットを外す 図 20B。
7. に示すように、機体からスプリングクレードルとスプリングを外す 図 20C。

注 スプリングクレードルのデカルの位置を記録しておいてください。クレードルは、あとから元通りの位置に戻す必要があります。

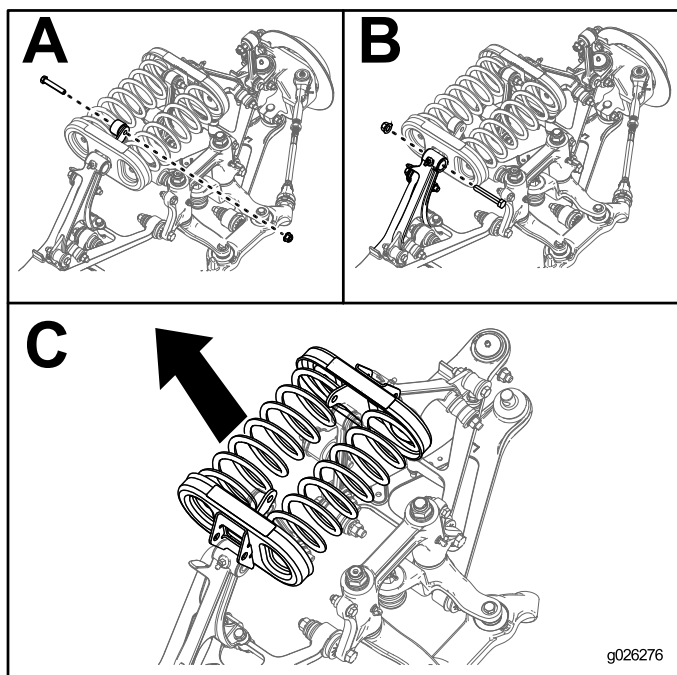


図 20

6

内側フェンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	内側フェンダ
2	フェンダストラップ
6	六角ヘッドフランジボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "
8	フランジナット ($\frac{1}{4}$ ")
2	ゴム製バンパー
2	ワッシャ
2	ケーブルタイ

手順

1. フェンダストラップをシートベースフレームの下エッジに合わせ、フェンダストラップを型紙として利用してシートベースフレームのそれぞれの側にドリルで穴直径 $\frac{5}{16}$ "を開ける 図 21。

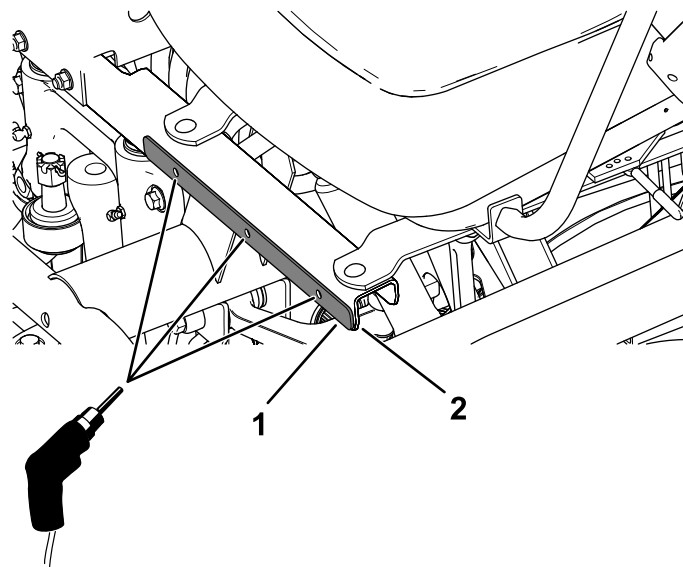


図 21

1. フェンダストラップ
2. ベースフレームのエッジ

2. 内側フェンダとフェンダストラップを取り付ける六角ヘッドフランジボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "6本とフランジナット $\frac{1}{4}$ "6個を使って 図 22のように取り付ける。

8. スプリングクレードルから既存のスプリングを外し、このキットのスプリング黒色を代わりに取り付ける。
9. 圧縮スプリング工具を使用して、各スプリングをステップ2で測定した長さに圧縮する。
10. スプリングを取り付け、クレードルを機体に戻す。
11. スタビライザのリンクとコントロールアームから先ほど取り外したボルトとナットを、元通りに取り付ける。
12. 前輪を取り付け、機体を床に下ろす。
13. ラグナットを 109-122 N.m 9.7-12.5 kg.m = 80-90 ft-lbにトルク締めする。

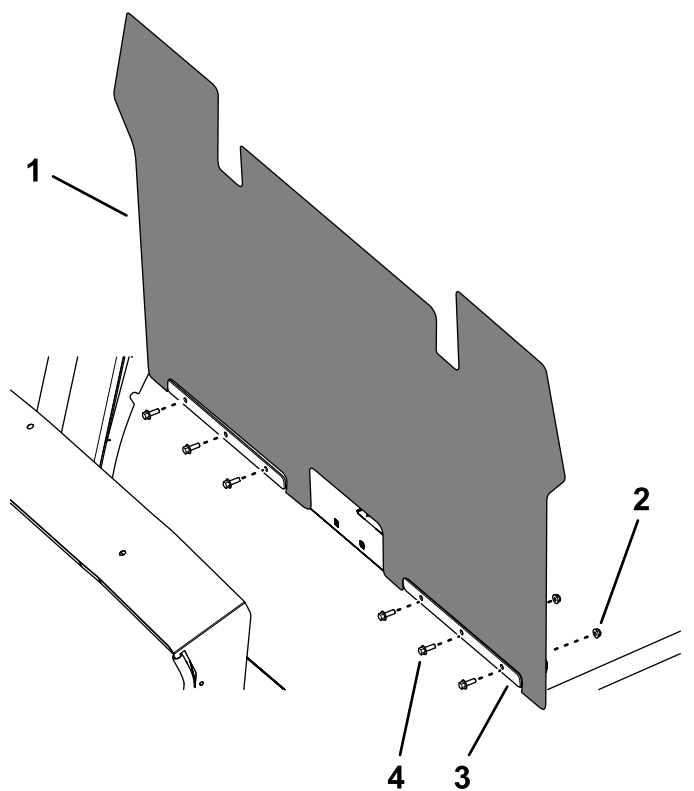


図 22

1. 内側フェンダ
2. フランジナット (1/4")
3. フェンダストラップ
4. 六角ヘッドフランジボルト 1/4 x 3/4"

3. フラップを折り曲げてフロアフランジの後ろに入れる 図 23。
4. ケーブルタイ2本でフラップをセンターフレームのチューブに固定する 図 23。

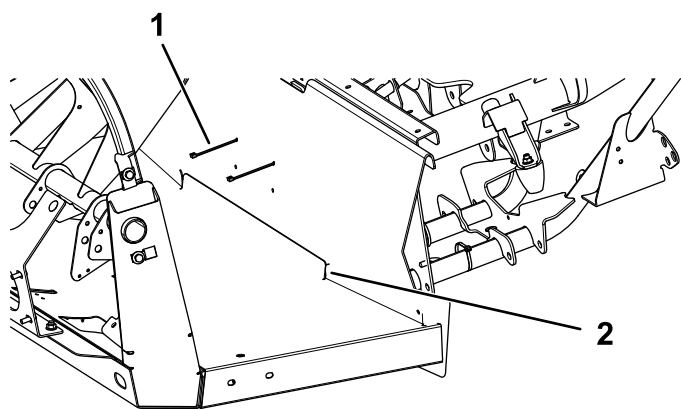


図 23

1. ケーブルタイ
2. フロアフランジの裏側に織り込んだフラップ

5. ゴム製バンパーを取り付けるそれぞれの側に、ワッシャ 1 枚とフランジナット 1/4" 1 個を使用する 図 24。

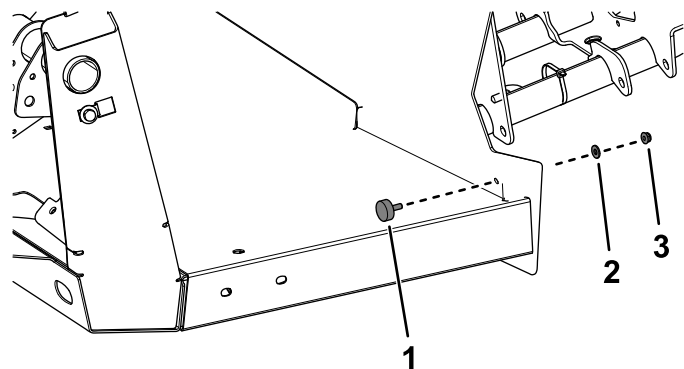


図 24

1. ゴム製バンパー
2. ワッシャ
3. フランジナット (1/4")

7

キャブ取り付けブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左側取り付けアセンブリ
1	右側取り付けアセンブリ
2	アジャスタボルト 3/8 x 2"
2	六角ナット 3/8"
4	六角フランジヘッドボルト 3/8 x 1"
4	フランジナット 3/8"
2	キャブ前部取り付けブラケット
2	六角ヘッドボルト 7/16"
2	スラストワッシャ
2	ロックナット 1/2"
2	ゴム製アイソレータ
2	スペーサ
2	ワッシャ
2	ロックナット
2	フランジヘッドボルト 1/2 x 2 1/4"

手順

1. 機体に後ブラケットを取り付ける 図 25 ROPSアセンブリを取り外す (ページ 5) でROPS から取り外したボルト・ナット類を使用する。

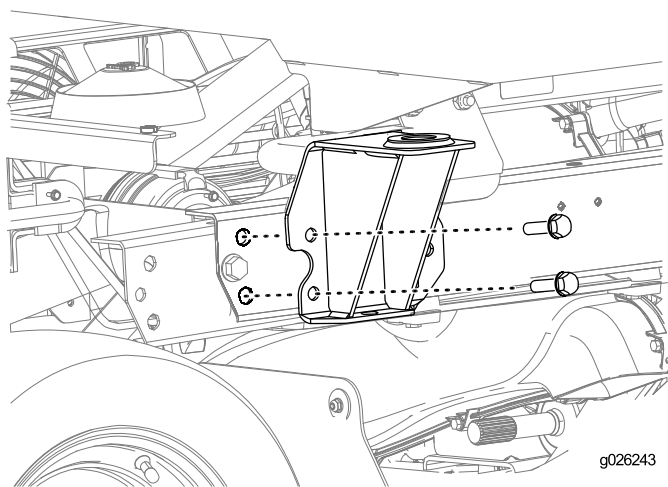


図 25

2. ボルトを94-108 N・m 3.7-4.6 kg・m = 70-80 ft-lb にトルク締めする。
3. 左右の取り付けアセンブリを、キャブ前部取り付けブラケットに取り付ける左右それぞれに六角フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1"2 本、フランジナット $\frac{3}{8}$ "2 個を使用する 図 26。
取り付けアセンブリの真ん中の穴を使用する。
4. 機体の左右で、左側取り付けアセンブリと右側取り付けアセンブリにアジャスタボルト $\frac{3}{8}$ x 2" と六角ナット $\frac{3}{8}$ "を取り付ける 図 26。

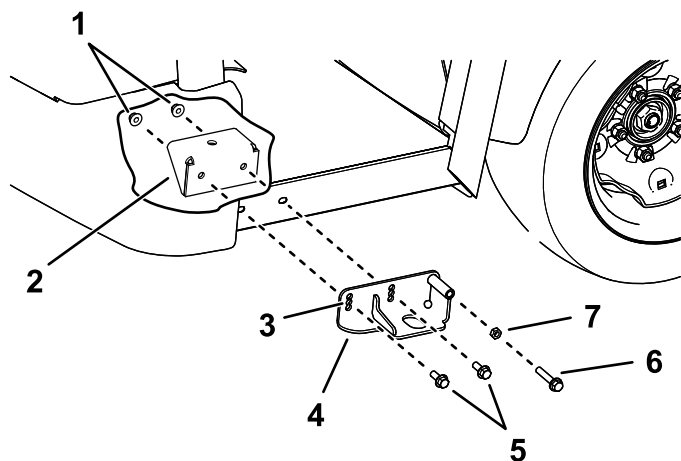


図 26

1. フランジナット $\frac{3}{8}$ "
2. キャブ前部取り付けブラケット
3. 中央の穴
4. 左側取り付けアセンブリ
5. 六角フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1"
6. アジャスタボルト $\frac{3}{8}$ x 2"
7. 六角ナット $\frac{3}{8}$ "

5. 前キャブ取り付けブラケットを取り付ける左右それぞれに六角ヘッドボルト7/16"、スラストワッシャ、ロックナット $\frac{1}{2}$ "2 個を使用する 図 27。

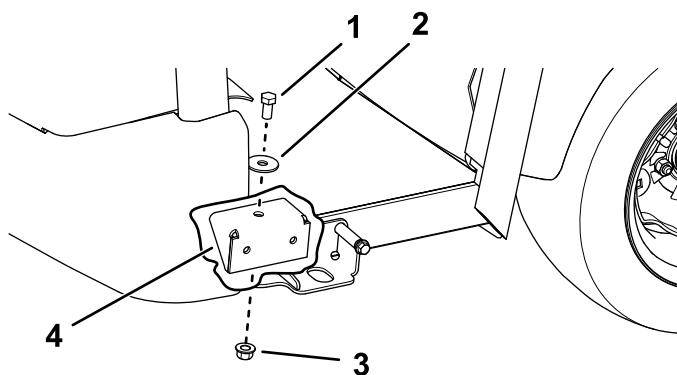


図 27

1. 六角ヘッドボルト7/16"
2. スラストワッシャ
3. ロックナット $\frac{1}{2}$ "
4. キャブ前部取り付けブラケット

6. ゴム製アイソレータを取り付ける左右それぞれにフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 2 $\frac{1}{4}$ "、スペーサ、ワッシャ、ロックナットを使用する 図 28。

注 石鹸水を使うと取り付けしやすくなります。

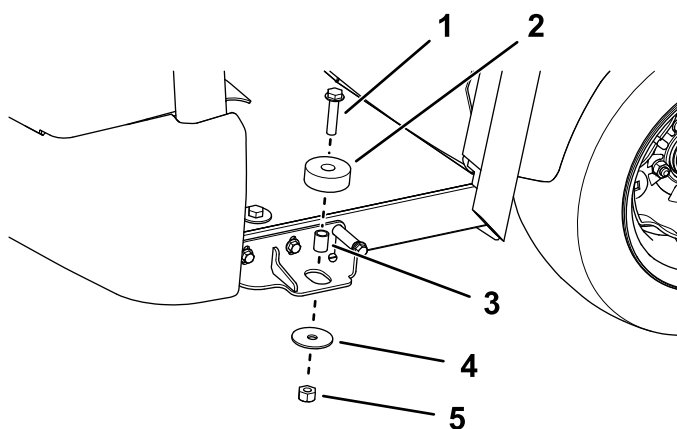


図 28

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 2 $\frac{1}{4}$ "
2. ゴム製アイソレータ
3. スペーサ
4. ワッシャ
5. ロックナット

8

運転席シュラウドを取り付ける

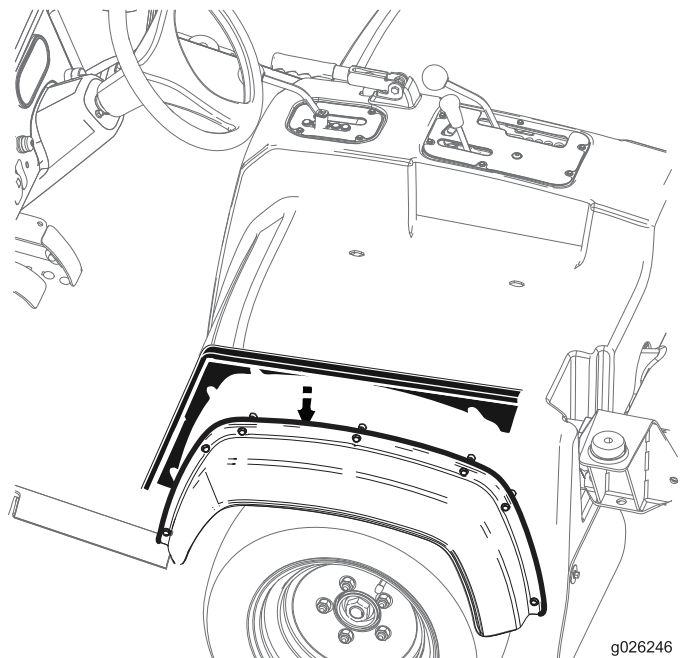
必要なパーツはありません。

手順

両モデル共通

1. 運転席シュラウドの開口部駐車ブレーキ用を、駐車ブレーキのハンドルに合わせる。
2. ギアセレクトカのカバーについている穴を、ギアセレクトカのロッドに合わせる。
3. 運転席のシュラウドの開口部を、荷台昇降レバー用、ハイローレンジセレクトカ用、デフロック用のロッドに合わせる。
4. 運転席シュラウドを降ろす。
5. シュラウドの開口部運転席取り付け用を、シャーシのシートサポートブラケットに合わせる。
この時点ではまた本締めしないこと。
6. シフトインジケータをプラグに差し込み、コントロールブラケットを固定する 図 12 と 図 14 運転席シュラウドを取り外す (ページ 6) で取り外したねじを使用する。

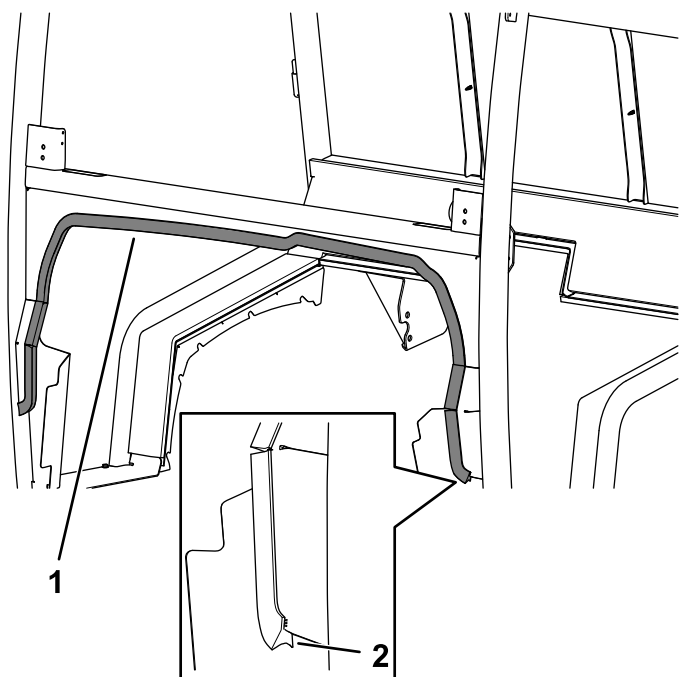
重要この作業はワークマン HDX-Auto のみで必要な作業です。



g026246
g026246

図 29

3. フェンダのボルトを締めつける。
注 ボルトを締めすぎないでください。
4. キャブに下側ダッシュ用シールを取り付ける 図 30。
長い方のリップを前側に取り付けること 図 30。



g246051

図 30

1. 下側ダッシュ用シール
2. 長いリップが前にくるように
5. 吊り上げポイント部分でキャブを吊り上げて機体の上に降ろす 図 31。

9

サイドプレートパネルとキャブフレームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	サイドプレートパネル
1	キャブフレーム
4	ボルト 1/2"
4	ワッシャ 1/2"
4	ナット 1/2"
1	下側ダッシュ用シール

手順

1. サイドプレートパネルを入れることができるようにフェンダのボルトを約1回転ゆるめて隙間を作る。
2. 座席シュラウドとサイドフェンダとの間にサイドプレートパネルを入れる 図 29。

注 ボルトを締め付ける前に、パネルが完全に密着していることを確認してください。

注 キャブをマシンに降ろす前に、下側ダッシュシール部分に石鹼水を塗りつけてください。

注 キャブをマシンに取り付ける時、下側ダッシュシールの前後リップがずれないように注意してください

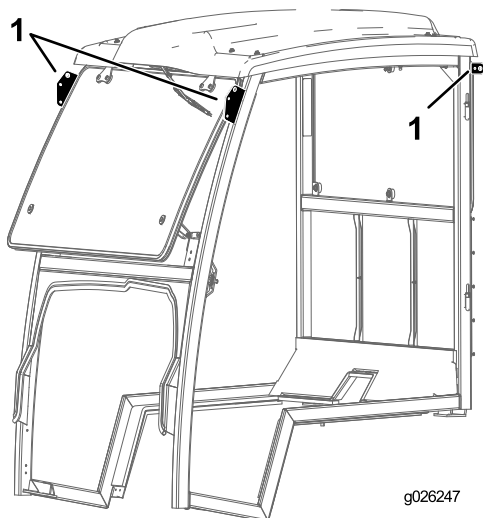


図 31

1. 吊り上げポイント

6. フレームを機体に固定するボルト $\frac{1}{2}$ "4 本、ワッシャ $\frac{1}{2}$ "4枚、ナット $\frac{1}{2}$ "4 個を使用し、図 32 のように取り付ける。

注 ボルト 4 本はまだ本締めしないでください。

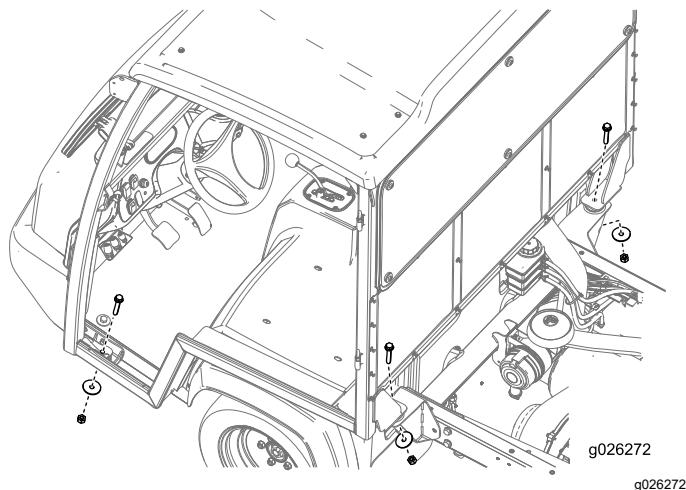


図 32

7. キャブが車体の左右中央にきているか確認し、微調整する。

微調整はアジャスタボルト 図 26 で行う。

8. ボルト $\frac{1}{2}$ "4 本を 91-113 N·m3.7-4.6 kg·m=67-83 ft·lb にトルク締めする。

10

ワイヤハーネスを配設する

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
4	ケーブルタイ
1	ヒューズ (30 A)

手順

1. ワイヤハーネスを 図 33 のように配設し、ケーブルタイ4本で固定する。

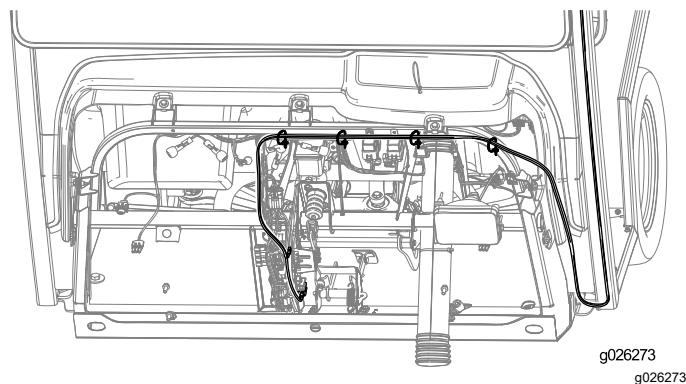


図 33

2. ハーネスのリング端子をアースブロックに接続し、ヒューズブロックのコネクタを空いているヒューズブロック用のコネクタに接続する 図 34。

注 ヒューズブロックの接続に空きがない場合には、ヒューズブロックを追加してください。詳細について分からないことがありましたら弊社代理店におたずねください。

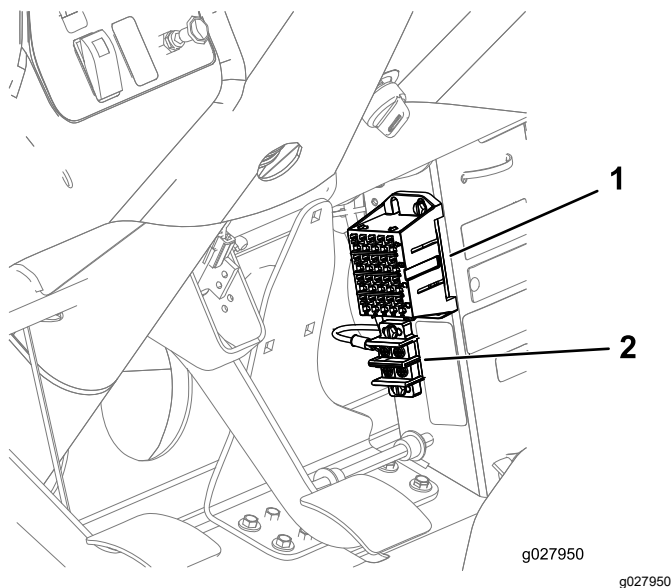


図 34

1. ヒューズブロック 2. アース端子ブロック

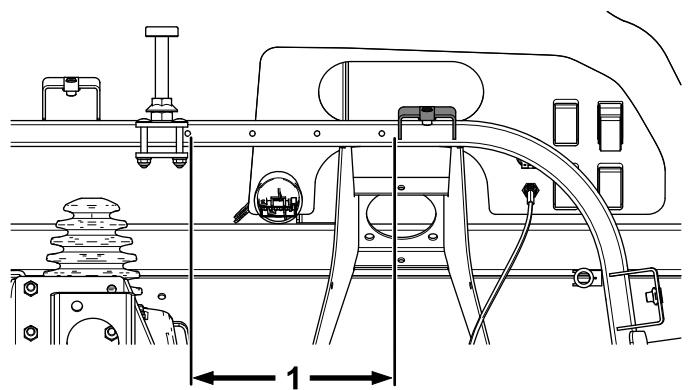


図 35

1. 207 mm

2. ダッシュサポートチューブに、アジャスタプレートとバックプレートを取り付ける キャリッジボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ " 4 本、フランジナット $\frac{1}{4}$ " 4個を使用し 図 36 のように取り付ける。

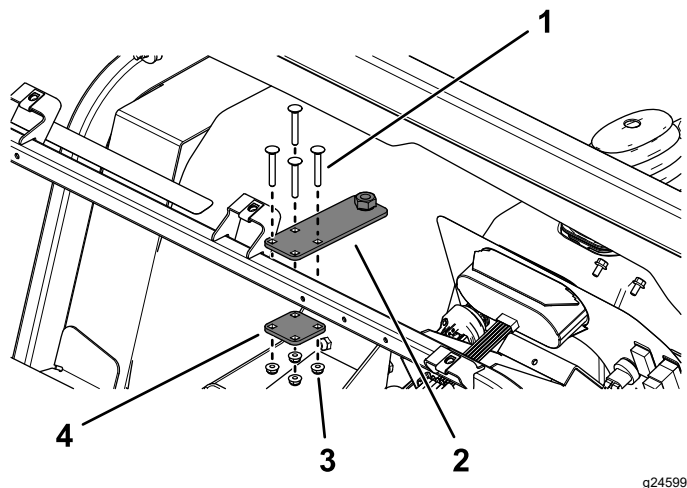


図 36

1. キャリッジボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ " 3. フランジナット ($\frac{1}{4}$ ")
2. アジャスタプレート 4. バックプレート

3. アジャスタプレートに、タップボルト $\frac{1}{2} \times 4$ "、フランジナット $\frac{1}{2}$ "、ストッププレートを取り付ける 図 37。

11

ダッシュサポートを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	バックプレート
1	アジャスタプレート
1	タップボルト $\frac{1}{2} \times 4$ "
1	フランジナット ($\frac{1}{2}$ ")
1	ストッププレート
4	キャリッジボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ "
4	フランジナット $\frac{1}{4}$ "

手順

1. フードブラケットの下縁から 207 mm の位置にマーキングする 図 35。

12

樋を取りつける

この作業に必要なパーツ

1	樋
1	助手席側透明チューブ — 122 cm
1	運転席側透明チューブ — 43 cm
1	フロア用透明チューブ — 33 cm
1	字フィッティング
3	マグネットタイ用マウント
3	ケーブルタイ

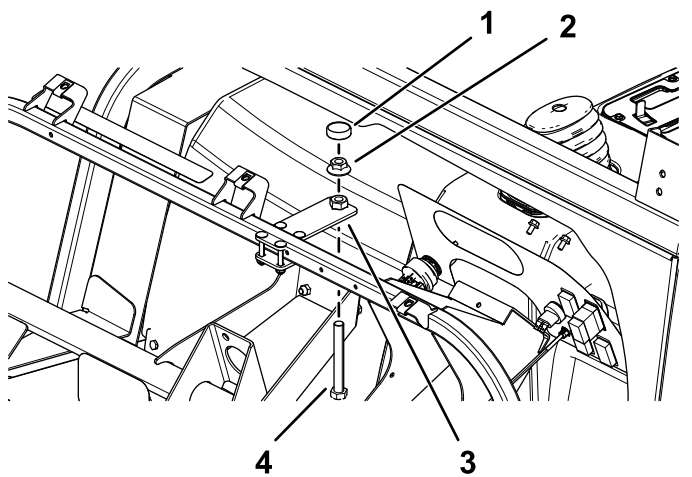


図 37

g246000

1. ストッププレート
2. フランジナット (1/2")
3. アジャスタプレート
4. タップボルト 1/2 x 4"

4. ストッププレートがダッシュを上に押し付けるようにタップボルト 1/2 x 4" で調節してダッシュとキャブの間のすきまをなくす 図 38。

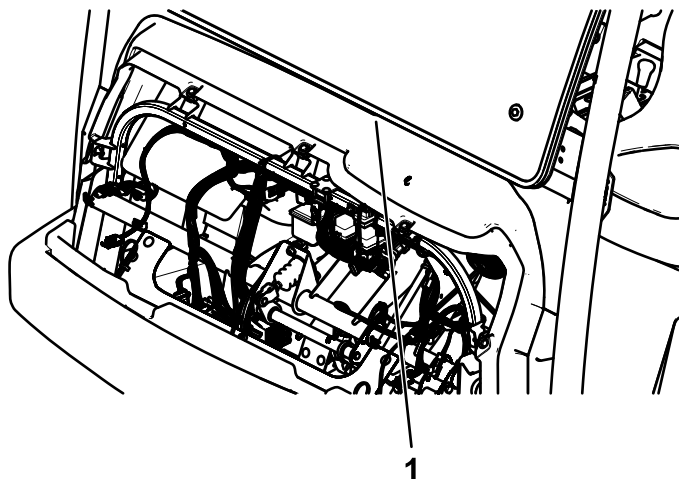


図 38

g246149

1. ダッシュとキャブの間のすきま

手順

1. ダッシュボードについている六角ワッシャヘッドボルト5本を外す 図 39。

六角ワッシャヘッドボルト5本は再利用します。

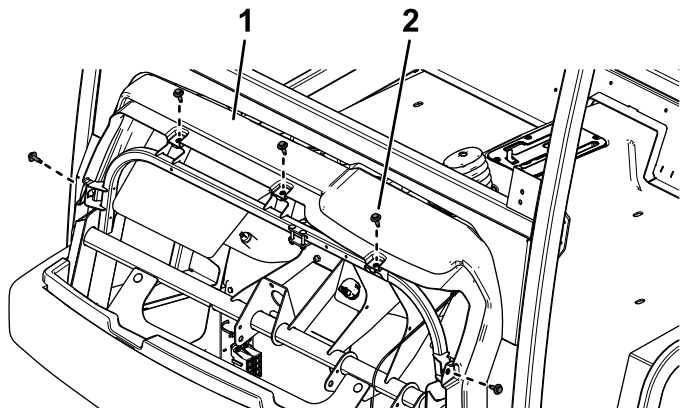


図 39

g245854

1. ダッシュ
2. 六角ワッシャヘッドボルト

2. 機体のダッシュとサブフレームとの間に樋をセットし、先ほど外した六角ワッシャヘッドボルト5本で固定する 図 40。

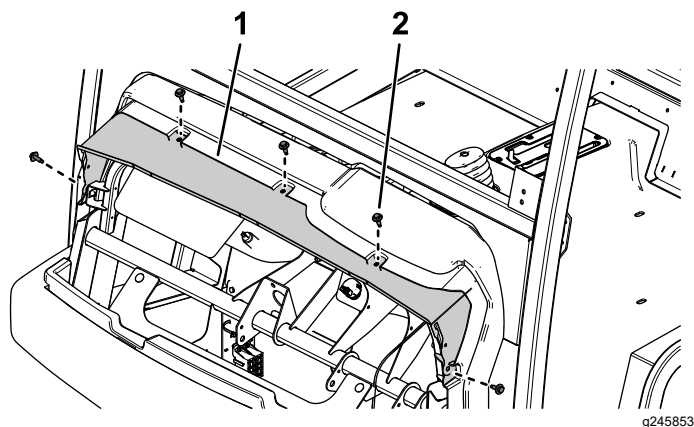


図 40

1. 樋
2. 六角ワッシャヘッドボルト

3. 樋の左右についている金を金ハサミで切り取る 図 41。

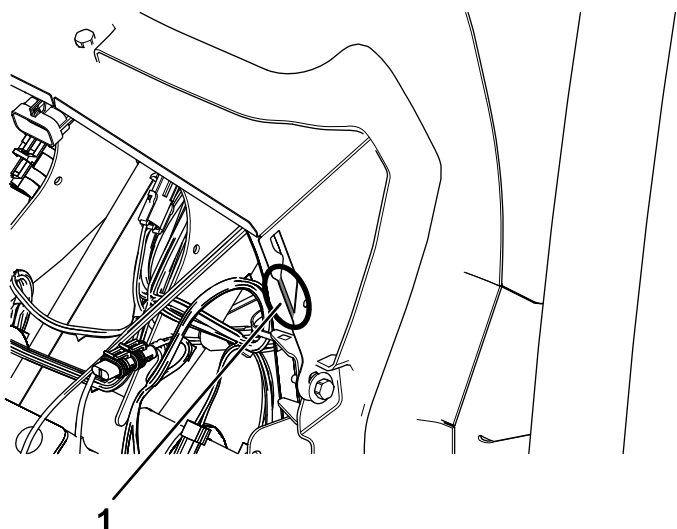


図 41

1. 出荷用の張り出し部

4. T字フィッティングを使って、122 cm の透明チューブを 33 cm の透明チューブと 43 cm の透明チューブに接続する 図 42。

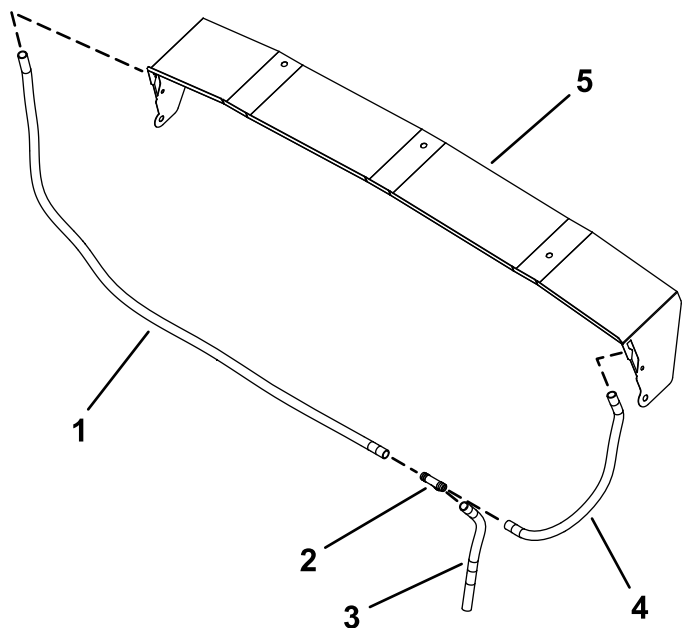


図 42

1. 助手席側透明チューブ — 122 cm
2. T字フィッティング
3. フロア用透明チューブ — 33 cm
4. 運転席側透明チューブ — 43 cm
5. 樋

5. 助手席側から始めて、長くつながった透明チューブをフロアボードクラッチペダルまでおろし、そこから運転席側へ回す 図 43。
6. マグネットタイ3個とケーブルタイ3本を使って、チューブを固定する 図 43。

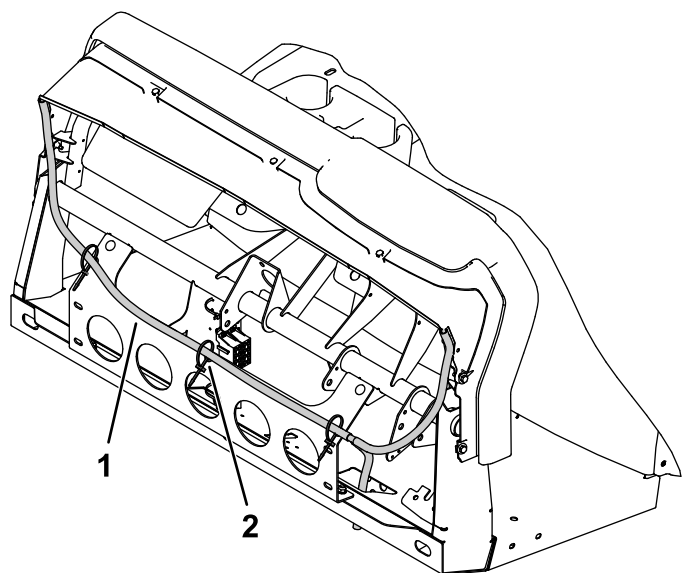


図 43

1. 配設されたチューブ
2. マグネットタイとケーブルタイ

7. 透明チューブの各端部を 45° に切断する 図 44。

- 透明チューブの端部を樋の下端に合わせ、チューブ先端機体の外側にくるようにして樋に接続する図 44。

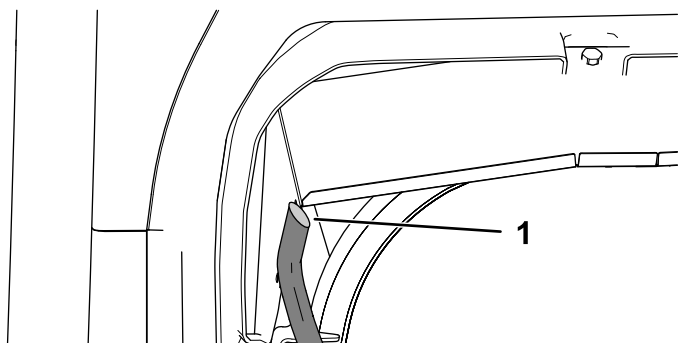


図 44

g246160

- 口を 45° に切断したチューブを樋の下部に接続した状態

- 機体の左右それぞれの側にサイドプレートパネルを取り付けるボルト 1/4" 2本を使い、図 46に示すように取り付ける。

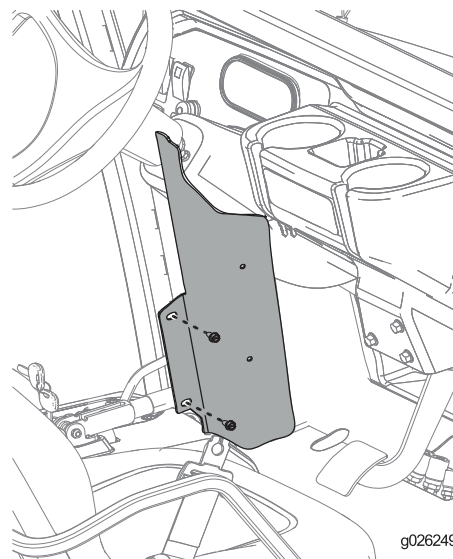


図 46

g026249

g026249

- ボルトを 10.17-12.43 N・m 0.6-0.7 kg・m = 90-110 in-lb にトルク締めする。

13

フロアプレートとサイドプレートパネルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	フロアプレートパネル
2	サイドプレートパネル
12	ボルト 1/4"

手順

- 機体の左右それぞれの側にフロアプレートパネルを取り付けるボルト 1/4" 3本を使い、図 45に示すように取り付ける。

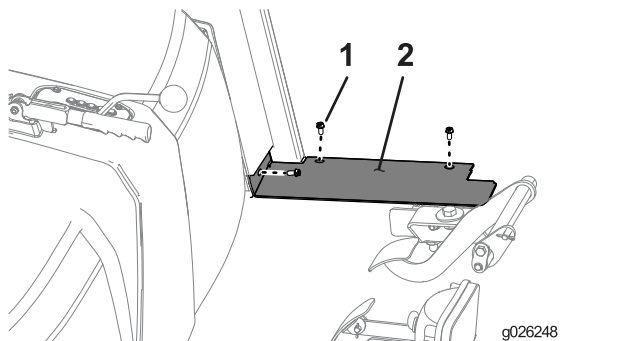


図 45

g026248

- ボルト 1/4"
- フロアプレートパネル

- ボルトを 10.17-12.43 N・m 0.6-0.7 kg・m = 90-110 in-lb にトルク締めする。

14

センターコンソールパネル、座席、冷却液タンク、CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、オペレーターズマニュアル保管チューブを取り付ける。

この作業に必要なパーツ

2	ボルト 1/4"
2	スペーサ
1	ストラップ
2	ナット 1/4"
1	CVT インテークフード・アセンブリ 別売

手順

- オペレーターズマニュアル保管チューブを取り付ける図 47。

15

バッテリーを接続し、荷台を降ろし、フードを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

1. バッテリーケーブルプラスをバッテリーに接続する。
2. バッテリーカバーを握り込んで、タブをバッテリーベースに合わせ、力をゆるめるとカバーがセットされる。

注 車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

3. 荷台を降ろすオペレーターズマニュアルを参照。
4. フードの底部を、バンパーの上部に合わせる。
5. ライトを接続する。
6. 上側の取り付けタブをフレームの穴に差し込む。
7. バンパーのポケットに、下側の取り付け用タブを差し込む。
8. フードが上下左右の溝にしっかりはまっていることを確認する。

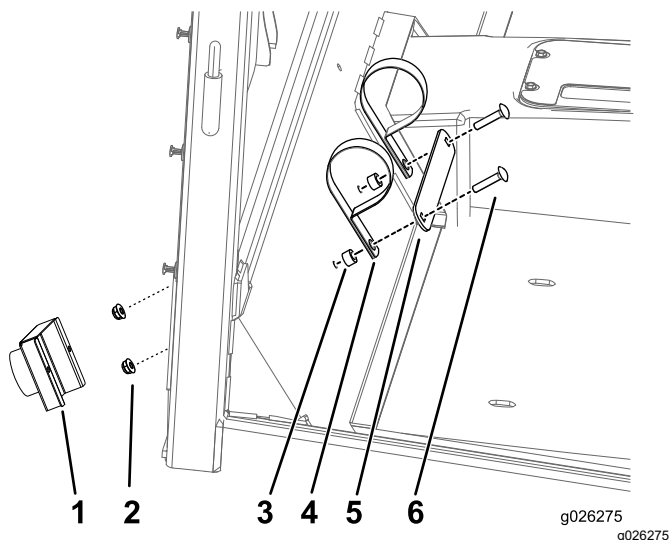


図 47

- | | |
|--|-----------|
| 1. CVT インテークフードアセンブリ
ワークマン HDX-Auto
のみ。別売品 | 4. R クランプ |
| 2. ナット | 5. プレート |
| 3. スペース | 6. ボルト |

2. 座席レールについている穴を、シュラウドの穴運転席を取り付けたい位置の穴に合わせる 図 6
3. 運転席をシャーシに固定するソケットボルト8本 図 6 の手順 座席を取り外す (ページ 4) で外したものを使用する。
4. CVT 冷却ダクト 図 7 を、インテークチューブコネクタに固定する3 CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、冷却液タンク、ROPS アセンブリ、シートシュラウドを取り外す (ページ 4) で外したホースクランプを使用する。

重要 この作業はワークマン HDX-Auto のみで必要な作業です。

注 ワークマン HDX-Auto では、CVT インテークフードアセンブリの取り付けが必要です。代理店に連絡してください。

5. 中央コンソールのところで、コントロールロッドの上から中央コンソールパネルをかぶせ 図 3 と 図 5 、 2 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 3) で取り外したねじを使用してパネルを固定する。
6. 2 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 3) で取り外したノブを取り付ける。
7. 冷却液タンクブラケットの左右にあるフランジを、シートシュラウドの冷却液タンクサポートのブラケットに合わせる 図 8。
8. サポートにタンクをセットし、完全に着座させる 図 8。

製品の概要

各部の名称と操作

コントロールパネル

ワイパースイッチ

スイッチ上部を押すとワイパーが作動します 図 48。

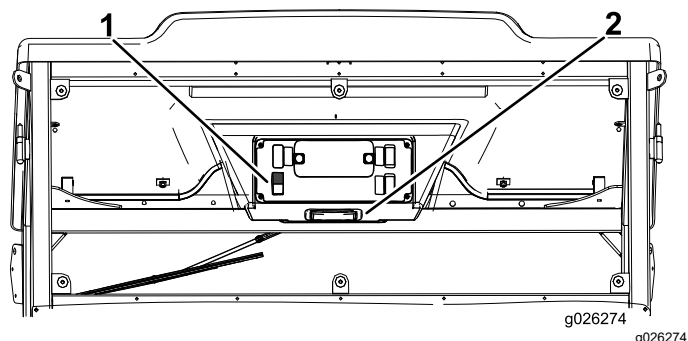


図 48

1. ワイパーコントロール 2. ライトスイッチ

ライトスイッチ

ライトプレートを押すとライトが点灯します 図 48。

前窓ラッチ

ラッチを上を開くと窓を開けることができます 図 49。ラッチを押し込むように開くと窓を開いた状態で固定できます。閉じる時にはラッチを引き出して下げてください。

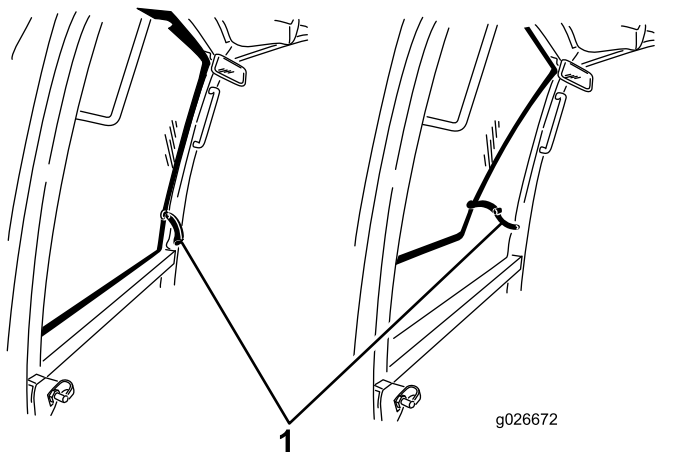


図 49

1. 前窓ラッチ

メモ

メモ

メモ

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます。エアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータまたはディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。